

鹿児島県災害時小児・周産期医療研修会実施要領

1 目的

小児・周産期医療関係者の災害医療に対する知識の向上を図るとともに、災害発生時におけるEMISやPEACEの活用の重要性及び「災害時小児周産期リエゾン」の役割を周知する。

2 日時

令和5年6月9日（金）18：30～20：30

3 場所

鹿児島県医師会館大ホール（鹿児島市中央町8-1）

4 開催方法

対面及びWeb併用のハイブリッド形式（遠方の医療機関のみWeb参加を想定）

5 対象者

小児・周産期医療関係者

6 内容及び講師

時間	内容	講師等
18:30～18:35 (5)	開会	県くらし保健福祉部子ども家庭課
18:35～18:55 (20)	① 本県の災害医療の現状とEMIS入力的重要性について(仮)	鹿児島市立病院 救命救急センター長 吉原 秀明 氏
18:55～19:35 (40)	② 災害時小児周産期リエゾンの概要について(仮)	九州大学 小児救急センター 助教 賀来 典之 氏
19:35～20:15 (40)	③ PEACE入力的重要性について(仮)	久留米大学医学部 産科婦人科学教室 教授 津田 尚武 氏
20:15～20:30 (15)	④ 本県の災害時小児周産期リエゾンの現状について	鹿児島市立病院 新生児内科 医長 平川 英司 氏